

ふるさと歴史散歩 207

～松前史談会レポート～

昌農内の水辺散歩Ⅲ

隅田川は、明治36年測量の地図に上高柳から昌農内にかけて記載されている。大間のホノギ角田からの角田川が転じたものだろう。天保年間(1830～1844年)のものと伝わる昌農内村絵図では、玉生川となっている。松山領伊予郡絵図にあった上高柳西境から北への流れは、ホノギから弘川(またはハライゴ)と呼ばれた。国近川は、恵久美の国近から名付けられ、曲がりくねって描かれている。このように川の名は流域の地名を付けることが一般的だが、例外は重信川である。「日本の河川で人名がついているのはこの川だけではないか」と、司馬遼太郎は『街道をゆく』で述べている。

隅田川は線路東側で流れを凸の字に変え、ガンド樋、ドトロ堰、井堰を設け4本の流れに分けている。現在は直進し、ガンド樋は大堰に、井堰は国道西側の樋に替えている。

水量豊富な隅田川であったが、昭和13年東レ誘致による取水で地下水位が低下し水源確保に迫られた。新戸から線路間際まで送水管を埋設し水を上流

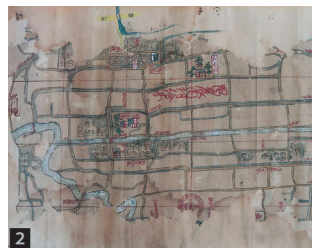
へ押し上げる大工事を行っている。明治の耕地整理で隅田川と国近川はほぼ現在の水路になったが、堰板やポンプの管理には今も人手がかかっている。

6月号のこのシリーズ冒頭で「水はタダと思っている」と書いたが、当たり前のように流れる川には、先人の知恵と苦労が、そして、今もそれを守る地域の知恵と苦労が流れていることを感じる水辺散歩であった。(麻生記)

【参考文献】升田繁市「昌農内のあゆみ」1964年、司馬遼太郎「街道をゆく14 南伊予・西土佐の道」(朝日文庫、2008年)、「愛媛県史 地誌II(中予)」(P.437、1984年)



■明治36年陸地測量部測地図
耕地整理前の昌農内。宝暦年間(1751～1764年)の伊予郡の略図には、昌農内、恵久美、北川原へ分水するため、流路を凸の字に迂回させた図が描かれており(愛媛県史)、先人の発想に敬服する。地図提供：平井屯氏＝昌農内＝(一部編集)



■昌農内村絵図(上が北)
天保年間製作とあるが、後年書き加えられた形跡があり正確な年代は不明。隅田川(玉生川)は、柚ノ木井手(中学校前)、高山井手(岡田駅前)、上蔵井手(岡田駅南)の四筋に分けられ西へ流れている。(昌農内所蔵)

8月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136

community learning center 公民館 だより

【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

東公民館図書館に15冊の新しい本が入荷しました。芥川賞受賞作の「ブラックボックス」、2022年本屋大賞受賞作の「同志少女よ、敵を撃て」、2021年のベストセラーランキング1位「人は話し方が9割」や話題の「三千円の使いかた」、その他児童図書など勢ぞろい。多くの人に楽しんでもらえればと思い、厳選しました。

当館では、新刊以外にも多数の書籍を取りそろえています。この暑い季節、東公民館で涼みながら読書をして過ごしませんか。本たちは、あなたを新しい世界へと誘ってくれるに違いありません。

じっくり読書できるスペースを設け、貸し出しも行っていますので、いつでもお立ち寄りください。



⑤新刊図書がずらり
⑥清潔で明るい雰囲気の良いライブラリー

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140 FAX 985-1386
<https://www.i-masaki.jp/library/>
◆8月の休館 31日(水)

おはなし会
20日(土) 11時～
文化センター
2階
ふるさと学習室

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶夏休みの空欄
探し
似鳥鶏・著
ポプラ社



高校生の成田頼伸(ライ)は、クラスで「じゃない方」と呼ばれている。夏休み、ひょんなことから人気者の成田青春(キヨ)と謎解きに挑む姉妹を手伝うことになり…。青春恋愛ミステリー

▶姫
花村萬月・著
光文社



時は信長の絶頂期。離島に巨大な南蛮船が漂着。船内には無数の棺と一人の赤子がいた。島の網元・利兵衛はその赤子を「姫」と名付け育て始める。姫には、特殊な能力が備わっていて…

▶星屑
村山由佳・著
幻冬舎



田舎者のミチルとサラブレッドの真由、そして少女たちをスターダムに押し上げようとする女性マネージャー。必死にもがく少女たちと、さまざまな思惑で動く大人たちが織りなす、スター誕生物語

東公民館

毎月順番に活動内容をお届け!

新刊が入りました

▶私は自衛官
杉山隆男・著
扶桑社



全自衛官のうち、約8%しかいないといわれる女性自衛官。なぜ自衛隊に入ったのか、どんな家庭をつくり、どういった生活をしているのか。女性自衛官9人の任務と私生活に迫る

▶原爆投下、米国人医師は何を見たか
ジェームズ・L・ノーラン Jr.・著
原書房



マンハッタン計画に参加し、原爆投下直後の日本を調査した米国人医師の資料から明らかになる原爆投下の新事実。彼らの葛藤と共謀を描き、核時代の黎明期そのものを浮き彫りにする

▶長いコトバは嫌われる
横田伊佐男・著
日経 BP



会議が長引いたり、意思決定が曖昧だったり、関連部署が勘違いしたり…。全ての原因は「長いコトバ」だった。だらだらがスッキリに変わる伝え方の大原則をストーリー形式で紹介する